

都市再生整備計画 事後評価シート  
西部地区

令和4年3月

大阪府大東市

様式2-1 評価結果のまとめ

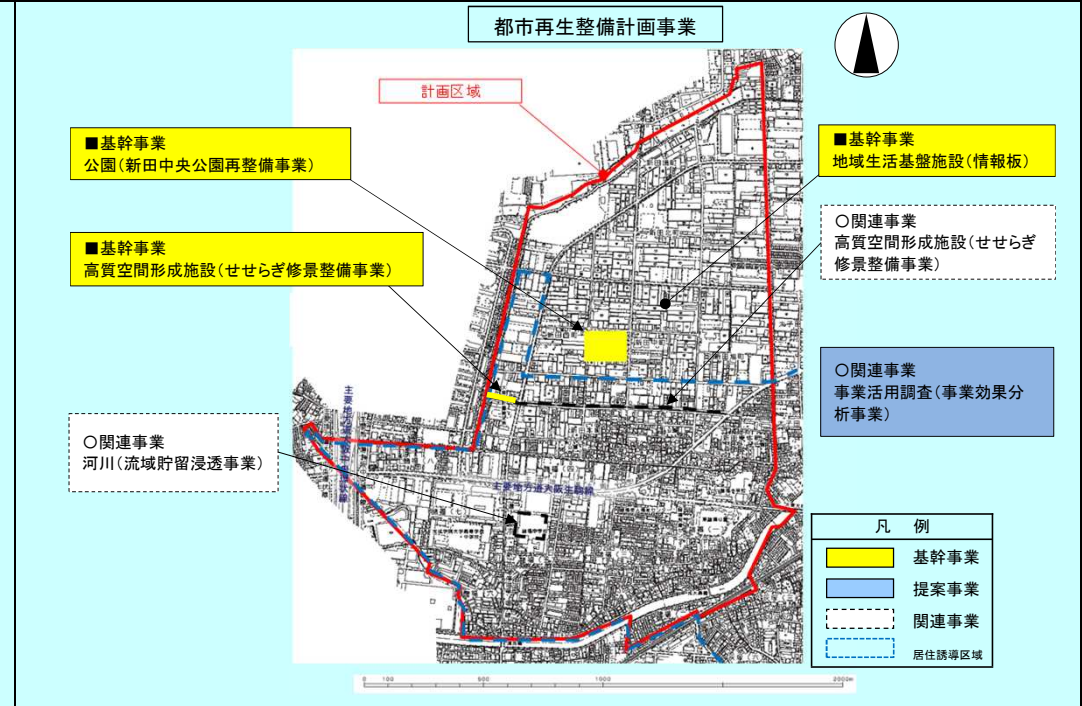
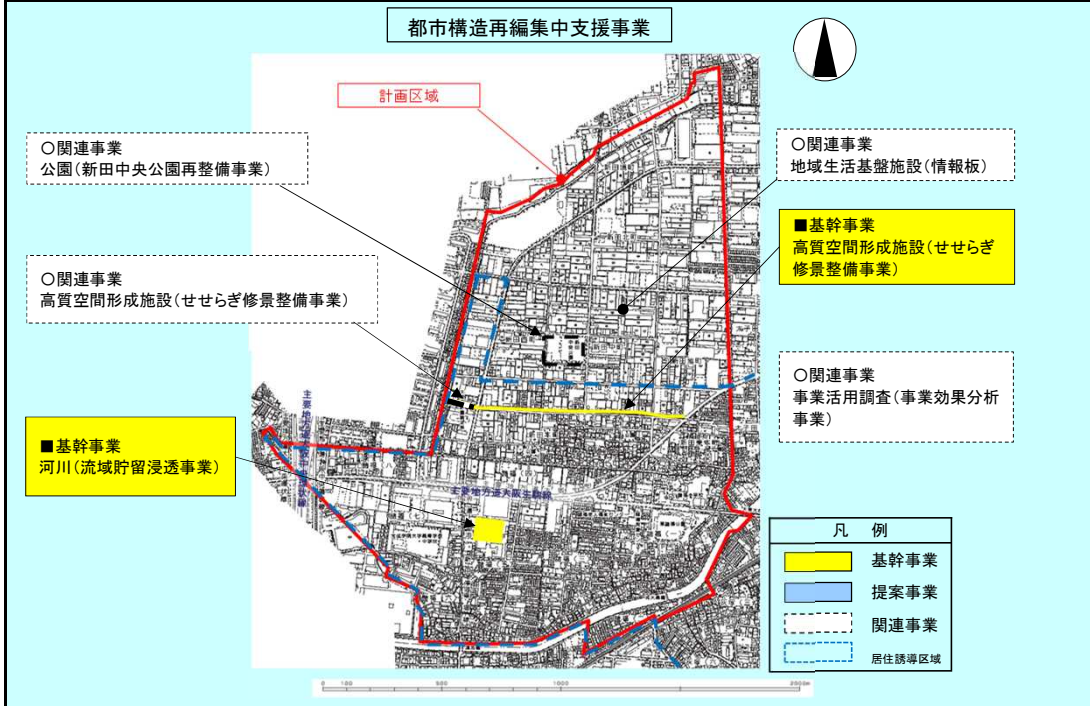
都道府県名	大阪府		市町村名	大東市		地区名	西部地区			面積	187.9ha			
交付期間	平成28年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	都市構造再編集中支援事業 1,098(百万円) 都市再生整備計画事業 442(百万円)	国費率	都市構造再編集中支援事業 0.42 都市再生整備計画事業 0.40					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
			基幹事業	公園(新田中央公園)、河川(流域貯留浸透事業)、地域生活基盤施設(情報板)、高質空間形成施設(せせらぎ修景整備事業)、										
	当初計画から削除した事業		提案事業	事業活用調査(事業効果分析事業)										
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	新たに追加した事業		基幹事業	高次都市施設(子育て世代活動支援センター)			都市再生整備計画事業の再編により削除			指標2を「子育て世代活動支援センター利用者数」から「公園を利用する割合」に変更				
			提案事業	—			—			—				
	交付期間の変更		当初	平成28年度～平成32(令和2)年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			—					
			変更	なし										
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
		指標1	計画区域内人口	人	12,325	基準年度	H27	目標年度	R2	モニタリング	12,122	×	あり	新田中央公園の整備や流域貯留浸透事業により、居住者が安全・安心に暮らすことのできる都市基盤が整備された。また、せせらぎ修景整備事業により、快適に生活することができる環境の整備が進んだ。これらの整備により、計画区域内の人口は、他の地区に比べると減少率が低くなっており、一定の効果は得られているものの、人口の増加には至らず目標未達成となった。
なし ●														
指標2		公園を利用する割合	%	32%	H27	50%	R2	—	40.6%	△	あり	新田中央公園の整備により、安全・安心な環境を確保するとともに、快適に交流できる公園となったため、地域の公園に対する満足度は50.0%と不満足度の26.3%を上回った。公園を利用する割合も従前値に比べ増加したが、目標の達成には至らなかった。	—	
											なし ●			
指標3		地域の防災訓練への参加者数	人/年	300	H28	500	R2	—	600	○	あり	地域の防災訓練への参加者数は、従前値の300人/年から増加し600人/年となり、目標の達成に至った。その要因としては、新田中央公園の整備や流域貯留浸透事業により地域の防災機能が向上したことで、地域の防災意識が高まったことなどが考えられる。アンケートでは、75.8%の人が避難所・避難場所を把握していると回答している。	—	
											なし			

	指 標			従前値		目標値		数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
			単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1	地域の世帯数の推移	世帯	5,552	H30	/	—	5,642	/	/	新田中央公園の整備や、せせらぎ修景整備事業による地域イメージの向上や、流域貯留浸透事業による安全・安心な環境の整備が進んだことにより、住みやすい地域としての意識が高まった。これらのことにより、世帯数が上昇した。	—	
	その他の 数値指標2	地域の高齢化率	%	20.47%	H27	/	—	22.08%	/	/	新田中央公園の整備により、児童用遊具や健康遊具が設置されたことや、せせらぎ修景整備事業による子供から高齢者まで快適に交流することのできる環境が整った。このことにより、市全体の高齢化率の増加ポイントと比較し高齢化率の増加が抑制された。	—	
4)定性的な効果 発現状況	・新田中央公園は、一時避難場所であることに加えて放水訓練が行われるなど、地域住民等の防災意識を醸成する場としても利用されている。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング			—		都市再生整備計画に記載し、実施できた		—		—			
				—		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施できた		—		—			
	住民参加 プロセス			—		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		—		—			
			—		都市再生整備計画に記載し、実施できた		—		—				
			—		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施できた		—		—				
			—		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		—		—				
	持続的なまちづくり 体制の構築	せせらぎ修景整備事業による地域内交流の創出				都市再生整備計画に記載し、実施できた		●		整備された水路を活用して、イベント等の開催や、自治会による維持管理を促すことにより、水路に対する愛着を醸成し交流を促進する。			
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施できた							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

## 様式 2-2 地区の概要

### 西部地区（大阪府大東市） 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標			従前値		目標値		評価値	
	計画区域内人口	人	12,325	H27	12,700	R2	12,122	R2
災害に強く、人と人がつながる活力あふれるまち 目標1：安全安心な都市環境が整い、人口を確保する活力あるまち。 目標2：居住者等が快適で元気に活動し、交流できる環境の整備を進める。	公園を利用する割合	%	32%	H27	50%	R2	40.6%	R2
	地域の防災訓練への参加者数	人/年	300	H28	500	R2	600	R1
	地域の世帯数の推移	世帯	5,552	H30	—	—	5,642	R3
	地域の高齢化率	%	20.47%	H27	—	—	22.08%	R2



まちの課題の変化	<p><b>達成されたこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水貯留施設の整備により、豪雨による浸水リスクが軽減した。</li> <li>・新田中央公園を防災機能も有する安全・安心な交流空間として再整備した。</li> <li>・新田中央公園の再整備により、子どもや高齢者などが快適に交流できる公園となった。</li> <li>・せせらぎ修景整備事業により、閉鎖的で見通しの悪かった水路が改善された。</li> </ul> <p><b>残された未解決の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水路を活用した地域間交流の場を創出することにより、人口の定住化を促進していく必要がある。</li> <li>・公園・水路の交流機能の拡充や防災イベントの開催等を通して、防災に対する認知度やイメージアップを図る必要がある。</li> <li>・せせらぎ修景整備事業による癒しの空間・憩いの場を活用したイベント等による地域間交流や愛着の醸成を促進する必要がある。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・せせらぎ修景整備事業等による地域間交流の創出やまちの魅力の向上により、居住者が快適に生活・交流することのできる環境の整備を進める。</li> <li>・防災機能の地域への認知度アップにより、地域の防災意識の更なる向上を図る。</li> </ul>